

# ダイアリ

## ●タイトル

ダイアリ (Die-ary)

## ●著者名

乃川 雅々(のがわ がが)

## ●あらすじ

スマホで生存記録を撮っていた男はゾンビに噛まれ全身の激痛に苦しむ。「噛む」行為が痛みを和らげることに気づいた彼は、やがて自らの舌を噛み切り、人間性を失っていく。スマホに残されたのは、孤独な男の「死の記録」。彼の最期のうめき声は、ただ「噛みたい」という悲しい言葉だった。

## ●特記事項

◎ゾンビはなぜ噛むのか？

食べられずにゾンビになっている者が多いのは何故か？

その理由付けの為に脚本を書きました。

◎人間の愚かさは誰もが持っていて、誰もがその事に気がつきません。

他人を笑うが、自分が笑われていることには気がつきにくい。

愚かな主人公を笑う人が、これを見る事で自分の中を見つめ直す。そんな映像にしたいです。

## ●アピールポイント

① 極限られた予算でも撮影可能な構成であり、演出次第で高い没入感を生み出せます。低コストながら、映像的に挑戦的な作品になります。

② ゾンビという普遍的な題材を扱っており、視点の独自性から海外ホラー市場でも訴求できる可能性があります。

③ ゾンビ側の視点で描かれる作品はありますが、それらはコメディに偏っているものが多く、ゾンビ化していくシークエンスと、その人間の精神的な内面を書いているものは少ない為、目を引くと考えられます。

④ 後半はPOV + 字幕による実験的構成で、観客を“ゾンビの主観”に没入させる挑戦的な試みです。この手法によって、恐怖と哀しみが同時に伝わる新しい体験を狙います。

## ●本編文字数

4310字

## 登場人物

### ●主人公

- ・20代後半から30代前半。
- ・大人になりきれず特に得意な事も無い。
- ・できる事は他人がやった面白い事を真似することだけ。
- ・臆病だが承認欲求が強い。

### ●子供

- ・10歳くらい
- ・マスクにゴーグル
- ・最後に30秒ほど現れるのみ

### ●子供の母親

- ・30代半ば
- ・マスクにゴーグル
- ・最後に30秒ほど現れるのみ

## シーン1 森の中/昼

ボディカメラ (画面真っ黒)

激しく動き回る音。※動きの中で一瞬森の中がチラと映る。

ゾンビ

『おほか、かがへへ (ゾンビの声。)]』

主人公

『ちよっ！痛い！！』

『痛え！くそ！痛いって！』

※争う音。

※またチラと葉っぱや枝が映る。

真っ黒な画面

## シーン2 森の中／同日・昼

森の中走る音。

※激しい息づかい

※ここで初めて森の中を走る画面に。

※ボディカメラ(主人公目線で。第三者視点は排除する事)

森の中、キョロキョロ周りを見ながら立ち止まる主人公。(主人公目線カメラ)

※激しい息づかい。全力疾走の後の疲れ切った状況。

主人公

『痛え.....くそー痛え』

※視点カメラの前に噛まれた腕、何ヶ所か噛まれている

主人公

『うあ.....臭え！オエ、——あー.....痛てえ。

.....まじ痛え。ゾンビ怖えー。痛え。めちゃ噛まれた。あークソ痛い』

※とにかく、しつこいくらい痛みを強調する。

何か気配に気づく。後ろ振り返る。

※ゆっくり森の中を流す。(※視点カメラ)

——静寂——

森の奥からパキッと枝の折れる音

主人公

『！！.....やばい！来てる。』

慌てて走り出す。

※主人公視点カメラのみで主人公は映さない事。

◎時間経過

ここまで1分～1分30秒

——暗転

※タイトルは黒い画面にシンプルで小さな字体で。バックで逃げる音をフェードアウト

ダイアリ ※タイトル。カタカナのみ

### シーン3 森の中・小さな崖の下／1日目

※森の中の高低差2m程の崖の下、崖を背に座っている。

※スマートフォンを手に持って自撮りビデオ撮影。(ここで初めて主人公の顔が映る)

※素人の配信っぽく。

ゼエゼエ

※主人公。息が荒い。全力で走った後の息遣い。

※客観的に話して恐怖を誤魔化そうとしている感じ。ただし、素人なので話し方は下手。

主人公

『あー、生きてるうちに、ビデオが、.....あー、ビデオ撮ります。バッテリーがね、少ないんでそんなに撮れないけどね。』

※辺りを怯えたようにキョロキョロする

主人公

『あー、ゾンビに噛まれました。1時間くらい前に。もう最悪です。で、逃げてる途中で足.....足、捻挫したかも.....痛あ。』

足首さする。

主人公

『あー.....あー身体中痛いです。

傷口は川で洗ったけど.....なんか黒くなってるね。痛い。

とにかく痛くて.....あー、痛いです。最悪です。』

——沈黙——

主人公

『.....俺.....ゾンビになるのかな？ 鬱だ.....』

※主人公、項垂れる。

ビデオオフ。

※暗転

◎時間経過

ここまで約3分30秒～4分以内

## シーン4 山の廃屋／2日目

※スマホでビデオ撮影。

※何かでスマホを固定して撮影している為、画角が少しずれている。

※主人公、息が荒い。廃屋の床に横になっている。実況風。

主人公

『あー、昨日噛まれてから.....熱で.....熱高くて。多分40度以上?.....体感的に?.....ま、体温計無いから分かんないけど。とにかく熱いです。』

※恐怖を実況している事で紛らわしている感じ。

主人公

『身体中が熱くて痛くて.....あー痛いなーもう！

あー、寝込んでます。動けないです。』

『あー、多分だけど.....多分.....——多分、このまま死んで.....』

——沈黙——

主人公

『.....ゾンビになります』

——沈黙——

※恐怖を押し殺した感じ。それを誤魔化すように明るく。

主人公

『.....まあね。なったらなったら.....もうゾンビに追いかけれないから.....それはそれでね』

うぐっ ※吐き気と嗚咽が混ざった声

主人公

『.....人追いかけて回すの楽しいかも。.....前向きに考えます』

主人公

『あー.....いたい、あつい.....いたあつ.....あっ.....』

※何かを思い出したかのように少し間を空ける。

主人公

「あー.....かゆいうまい。.....あれ？ かゆうまだっけ？ ふふ.....ゾンビになる前にこれ言っておかないとね。あー痛い。あーバッテリーないや、もう。最後のセリ.....」

※ここで電源が切れる。暗転

※バイオハザード (ゲーム) 内の有名な言葉。正確には、かゆいうま

◎時間経過

ここまで6分～6分30秒

## シーン5 森の中 / 4日目

※シーン4から2日後

※森の中、手持ちでスマホで自撮りしながら移動中。

主人公

『あー、噛まれてから3日経ちました。痛あ.....昨日は多分寝込んでました。記憶が全然ないです。あー.....それで、なんかまだゾンビになってないです。頭も物凄く熱かったけど.....やっと冷たくなりました。.....でも相変わらず.....痛いです』

※息が少し荒い。

主人公

『あー、全身に凄く痛みがあります。スーパー超痛いけど、ずっと痛いから動いてます。動いてるといくらかマシ。気がまぎれるからかな？ .....超痛いくらいになる。(ゼエゼエ) あー.....(グッと痛みを我慢する)でもやっぱり痛いなー(半泣き)』

※痛みを耐えながら

主人公

『痛みはですね.....持病の痛風の痛みが、全然気にならない程の痛みです。プリン体食べ放題・あービール飲みたいね.....あればね。.....あーとにかく痛い。』

主人公

『.....あ、なんでビデオ撮れてるか気になるでしょ?』

※自分のリュックを開ける。この時スマホを持ったままリュックを開ける為、スマホの画像が乱れる。

※自撮りスマホの前に手に持った透明ビニール袋に入った数台のスマホとモバイルバッテリーを映す。

主人公

『ライフハックだよ。……死んだ人の荷物漁ると大抵出てくるんだよ。スマホとモバイルバッテリー。使えないのも多いけどね。あー、あとねロックされてても使えるんだよ。カメラとライト。……死んだ人には悪いけど。あー、もう使えないからね。死んだら使えないからね。……本当にごめんね。』

※痛みを我慢して喋っていたが耐えられなくなって叫ぶ。

主人公

『あー！痛いなーもう！』

※スマホの画面揺れてブラックアウト

◎時間経過

ここまで9分～10分くらい(リアルに間を大事に)素人の配信ぼく

## シーン6 山の廃屋／5日目

※森の中廃屋。前回と同じ場所。拠点にしている。

※スマートフォン撮影。固定して自撮り。

※明るい声だが少し声のトーンが落ちている。

主人公

『…大発見です。腕とかかむと、すこし……いや、かなり痛みがやわらぐんですよ。……すごい発見です。まあ、完全になくなるわけではないですけど、全然マシです。……鼻歌が出たくらい。』

※少し笑ってみせる。

※えぐい噛み跡だらけの腕を見せる。(肉までの深さ)

主人公

『腕もいいんですけど、やっぱり暖かい方がいいみたいで、今は口のなかで舌をかみかみしています。……これで激痛からは解放されました。』

神さまは多分このために舌を口のなかに作ったのかもしれないと本気で思ってます。……ふふ、なんてね。』

主人公

『……そのうちこの騒ぎがおさまったら……びょういん……いけるといいな。』

※少しぎこちなく喋る。

暗転

◎時間経過

※ここまで12分以内。

## シーン7 山の廃屋／6日目

※森の中廃屋

※スマートフォン撮影。手持ち

※台詞は(舌が無くなったので)舌を使わずに発すること。

※正確に台詞をトレースしなくても良い。舌を使わず話す事。何を言っているか分からないくらいが丁度いい。その上で感情を込めること。

※カッコ内は字幕

※字幕は意図的にひらがなを多くする

主人公

『はっきね、ひへんああいまひた』(発音例)

(さっきね、じけんがありました)(字幕)

※床にある血の塊を映す。

『えろです。あーエロあないえふ。ひはえふ』(発音例)

(べろです。あーエロじゃないです。舌です)(字幕)

『あんかおえあ』(発音例)

(何か取れた)(字幕)

※以下のセリフを舌を使わずに話す事。

※カッコ内字幕)

(きのう、舌をかむと、痛みが、やわらぐって、いったじゃないですか)

(つよくかめばかむほど、痛みがとれるんで、調子にのって舌をかみかみしてたら、かみちぎってしまいました。…ショックです)

(これから先どうすればいいんでしょう？)

(.....なにを噛めばいいんでしょう？)

(この先ずっと痛みといきていかなくちゃいけないんでしょうか？)

※肩で泣く

※痛み能耐えきれず叫ぶ。

『あーはぎがい！はぎがい！！』

(あーかみたい！かみたい！！)カッコ内字幕。

暗転

◎時間経過

ここまで14分

-----

## シーン8 森の中／8日目

8日目

※シーン7から2日後

※森の中をゾンビのように、のそのそと歩いている。

※ここからは視点カメラのみ。

※台詞は(舌が無くなったので)舌を使わずに発音すること。ここからは感情は込めない。

※視点カメラ。(主人公視点)

※腕の噛み跡 ボロボロ、ところどころ骨が見えている。視点カメラに時々写る。

※話はボソボソと低く独り言のよう。

主人公

(からだ、つめたいからかな.....てをかんでも、いたみがねーなおらないですよー)

※カッコ内字幕

※前にもましてボソボソと話して何を言ってるかわかりづらい。

主人公

(あー痛い)※字幕

主人公

(かみたいなーあたたかいなにか、かみたいなー。いたーいよ。)※字幕

主人公

(なにか、ねことか、いぬとか、ねことか)

※ねこは、わざと繰り返しています

主人公

(なんでもいいけど、いきてるどうぶつーかめばいいのかなー?)

主人公

(.....でも、あしがいたくてからだもいたくちはやくうごけないのです。)

(つかまえられないのです。)

主人公

(おそいーどーぶつがいれば.....ね。)

(つーかまえてね)

(かみまくりたいよね。いたーみがとれるーまで。おもーう、ぞんぶん——)

※一瞬、遠くから子供の声が小さく聞こえる。

主人公

(こどーも？いる？)

主人公

(.....そんなね、おーそい、どーぶつがいれば.....)

森を抜けた山道で急に、目の前に人間の子供が現れる

※ボディカメラ(主人公視点)

※我を忘れて子供に近づき、噛もうとするが、子供の手にはナタが

※子供はマスクとゴーグルつけている。

子供がナタを振り上げる

主人公倒れる。

※真っ暗 ドサッと倒れる音。

主人公

(なに？なにおきーた？) ※字幕

子供

「ママー！！ゾンビいたよ！私倒した！！」

※少し離れた場所から声

子供の母親

「危ない事しないで！噛まれてない？血は？」

子供

「大丈夫だよ。遅いゾンビだった。」

主人公

(ぞんーび？ちかくぞんーびいたーのか.....あぶなかーたな)

※地面に倒れた主人公目線の視線カメラ。  
空と森の一部を写している。

※ゾンビが自分の事だと気づいていない。

主人公

(こどもぶじで.....よかた)

※ボソボソと息絶え絶えに台詞。無意識で襲った為、子供を襲ったのが自分とわかっていない。

子供の母親

※ゾンビの絶え絶えの唸り声を聞いて  
「.....まだ生きてる」

※近づく足音。

主人公

(いたいよ.....どこか.....)

おほか、かあへへ！(どこか、かませて！)

※冒頭のゾンビの言葉と同じ

※空と森を写したカメラに子供の母親がナタを振り上げる様子が映る。そしてナタを振り下ろす。  
ドン！

※子供の母親がナタでトドメを刺した音

暗転 エンド

※タイトル再表示

ダイアリ (Die-ary)

※死の記録

ここまでで16分程

終

※最初のゾンビも痛みから逃れる為、舌を噛み切った元人間。

※冒頭のゾンビの台詞と最後の台詞を同じにする事で冒頭のゾンビも痛みから逃れる事を目的としていた事を観客にわからせる。

※以下ゾンビ化のシーケンス

- ① ゾンビウイルスに感染すると全身に激痛が走る。
- ② 何かを噛む事で痛みが和らぐ。
- ③ だんだん温かいものでないと痛みが取れなくなる。
- ④ 温かい口の中の舌を噛み出す。
- ⑤ 舌を噛み切る。(意思疎通の欠落)
- ⑥ 他の人間を襲いだす。

※「噛む事」それは食べるためではなく痛みを取る為の行動。

※これはこれまでに制作されたゾンビ作品を否定せず融合するためのアイデアの一つです。